

報告 1 令和 2 年度事業計画

1. 調査研究事業（公益目的事業その 1）

①JASCOMA の発行

- ・ 53 号の発行
- ・ 54 号の発行

②修繕改築工法に関する調査研究

③安全管理に関する調査研究

- ・ 安全管理に関する技術について調査・研究を行う。
- ・ 安全衛生管理マニュアルを改訂する。

④災害復旧支援に関する調査研究

- ・ 災害復旧支援に関する技術的課題について研究を行う。
- ・ 災害復旧支援マニュアルを改訂し、風水害編を含めたものとする。

⑤下水道管路管理マニュアルに関する調査研究

- ・ 下水道管路管理マニュアルに関する情報収集を行う。

⑥下水道管路管理積算に関する調査研究

- ・ 下水道管路管理積算資料に関する情報収集を行う。

⑦下水道管路管理の現状及び今後のあり方に関する検討

- ・ 下水道管路管理のあり方に関する検討を行う。
- ・ 下水道管路管理研究会議を開催し、管路管理技術及び管路管理のあり方について調査・研究を行う。

⑧SDGs（持続可能な開発目標）達成に向けた活動に関する検討

- ・ 下水道管路管理における貢献のあり方について検討を行う。

2. 下水道管路管理技士認定事業（公益目的事業その 2）

①下水道管路管理技士認定（総合技士、主任技士、専門技士）

- ・ 総合技士認定試験（筆記：東京及び大阪の 2 か所、面接：東京）を行う。
- ・ 主任技士認定試験（学科・実地：全国 7 か所）を行う。
- ・ 専門技士認定試験（学科・実技又は実地：全国 7 か所）を行う。

②下水道管路管理技士更新講習

- ・ 主任技士については、全国 10 カ所で実施する。
- ・ 専門技士については、全国 10 カ所で実施する。
- ・ 総合技士については、下水道管路管理セミナー等に合わせて実施する。

③下水道管路管理技士の資格活用拡大と受験者数の増加

- ・ 下水道管路管理技士の資格活用を自治体に要請する。
- ・ 下水道管路管理技士の受験者数を増加させる。

④下水道管路管理業登録

- ・ 新規登録及び登録更新を行う。

3. 講習会事業（公益目的事業その 3）

①初級研修

- ・ 機器操作を中心とした初級者向け研修を本部及び各支部にて行う。

②中級研修

- ・ 日本下水道事業団の実施する認定試験（管路施設）の受験対策として、本部及び各支部にて中級研修を実施する。

③下水道管路管理技術講習会

- ・管路管理技術の講習会を実施する。(各支部)
- ・昨年刊行した下水道管路管理マニュアルと下水道管路管理積算資料の説明会を行う。

④下水道管路管理セミナー

- ・管路管理に関するセミナーを開催する。(本部・各支部)
- ・下水道展'20 大阪にてストックマネジメントに関するセミナーを開催する。

⑤下水道管路管理安全講習会

- ・酸素欠乏危険作業特別教育を実施する。(各支部)
- ・安全管理講習会を実施する。(各支部)

4. 展示会事業 (公益目的事業その 4)

①下水道管更生技術施工展

- ・横浜市にて第 20 回表記施工展を開催する。

②修繕改築工法説明会

- ・表記説明会を開催する。(宮崎市)

5. 技術開発事業 (公益目的事業その 5)

①新技術支援制度に基づく技術開発

- ・管路管理に関する新技術について検討する。

6. 災害調査及び災害時対応訓練事業 (公益目的事業その 6)

①災害対応訓練

- ・支援協定締結都市との合同訓練及び本部と支部間の情報伝達等の対応訓練を実施する。(各支部)
- ・災害調査用報告書作成ソフトを改良する。
- ・マンホール調査の記録表作成ソフトを開発する。
- ・災害対応用映像を作成する。

②災害支援協定締結

- ・自治体との災害支援協定締結を推進する。

③災害支援のための台帳等保管業務

- ・災害支援協定を締結した自治体等からの要請を受け台帳等資料をクラウド上で保管する。

④災害支援前線基地責任者研修

- ・前線基地責任者に対して研修を実施し、災害支援の対応力向上を図る。

⑤災害支援に関する講習会

- ・災害支援に関して会員及び自治体関係者を中心に講習会を開催する。(各支部)

7. 展示会出展事業 (共益事業その 1)

①下水道展'20 大阪出展

- ・下水道展への出展等を行う。

②自治体等主催展示会への出展

- ・自治体等が主催する下水道関係展示会に出展する。(各支部)

8. 下水道管路管理キャンペーン事業 (共益事業その 2)

①地方自治体との意見交換会

②下水道管路管理と会員の広告宣伝